

様式3 実践事例

曾於市立末吉中学校 第1学年

【授業実践のポイント】

- ① 教材から道徳を考えるポイントとして、自分自身のもっている既知道徳をより豊かにすることが目的であることを押さえた。
- ② 道徳的価値について議論するポイントとして、良いか悪いかを対立的に判断する中で、道徳的にどう考えるか根拠をもって論じるよう助言した。
- ③ 振り返りのポイントとして、学級や学校の一員として自らの役割と責任を自覚し協力し合って学校生活を充実させる行動ができるために何を意識していけばよいか省みさせた。

1 主題名 「みんなをまとめる力」[C (15) よりよい学校生活, 集団生活の充実]

(1) 教材名 「むかで競走」(日本文教出版 「あすを生きる」 1年)

(2) 本時のねらい

学級や学校の一員として自らの役割と責任を自覚し、協力し合って学校生活を充実させようとする実践意欲を育てる。

2 授業の展開

過程	主な学習活動	単	指導上の留意点
導入	1 合唱コンクールの取組を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学校生活を充実させるためにはどのような心構えを大切にすればよいのだろう。</div>	10分	○ 合唱コンクールの写真や動画等を見せることで場面を想起させる。 ○ 2つの観点の道徳的価値がある箇所に線を引かせる。
	2 教材「むかで競走」を読み、道徳的価値がある箇所に線を引く。		
展開	3 教材から道徳を考える。 T: よいと思う言動, よくないと思う言動について考えてみよう。	15分	○ 線を引いた箇所をペアで確認する際に, 自説の正しさをアピールし争うことはしないこと, 主張するより受け入れることをおさえる。 ○ 自分自身のもっている既知道徳をより豊かにすることが目的であることをおさえる。 ○ 道徳的な根拠をもって論じるよう助言する。
	4 3年A組の評価をする。 T: 3年A組全体の言動の中で, よいと思う言動, よくないと思う言動について考え評価してみよう。	15分	
終末	5 ワークシートを用いて授業の振り返りを行う。 T: 学校生活を充実させるために大切なことは何だろう。	10分	○ 個人でワークシートにまとめさせる。 ○ 発言やワークシートの内容から評価を行う。



導入部分で、授業の直前に開催された校内合唱コンクールの取組を思い出させて、学級全体の協力の様子や団結した思い出を想起させることで、教材に対する理解を深める工夫をした。

むかで競走

学校生活を充実させるためにはどのような心がまえを大切にすればよいか。

1 道徳を見つける

- 「よい言動」
- ・ さあ、声を出して頑張ろう。
 - ・ 二人は間に一宏をくしていたのだ。
 - ・ 拓也や級友と合言葉になった。
 - ・ 走り終えた学級と走り寄った。

「よくない言動」

- ・ やっぱり、一宏がいなくてくれないかなあ。
- ・ 一宏がいなかったら優勝だよなあ。
- ・ ああ、昨日はく勝てないよ。
- ・ 俺だってく協力してくれないじゃないか。

2 3年A組の評価

- A (よい)
- ・ 「全員、転ばないで、完走」とクラスの目標が変わった。
 - ・ 最後はみんなの気持ちが一つになった。

- C (よくない)
- ・ 一宏を大切にしていない。
 - ・ 一宏のせいにして勝てないと考えている。

3 自分の生活を省みよう

- ・ クラス全体のことを考えて行動する。
- ・ 自分の意見や考えだけで行動するのではなく、一人一人のことを大切に
- ・ みんなで努力する声掛けや雰囲気作りをする。

特徴的な意見を対比させて視覚的に対する意見が分かりやすいよう工夫した。

各班の話し合いの際に教材を読む際に、共感したり、問題だと感じたりした場面に引かせた線の箇所を比較し合うことでそれぞれの考えの違いを確認させた。



1年 道徳 名称()	
15 新編書	むかで競走
【学習目標】 かんたんをまよとめる力	【内容項目】 C(15)よりよい学校生活、集団生活の光輝
【学習課題】 学校生活を充実させるためには、どのような心がまえを大切にすればよいか。	
問題1「合唱コンクールが楽しかったか」	
問題2「よいと悪い言動、よくないと言動について考えてみよう」	
班の	よいを思う
	よくないを思う
問題3「3年A組の神髄は？」	
A. よい - C. よくない	
問題4「学校生活を充実させるために大切なことは何だろう」	

〈ワークシート〉

3 実践を終えて

(1) 成果

ア 内容項目について発問を工夫し、焦点化をした上で個人で考えグループでの議論をさせることによって、個々の生徒が積極的に参加し、道徳的価値の練り上げにつなげることができた。

イ 導入の工夫、ワークシートの構成の工夫によって、自分事として教材をとらえ考えをまとめさせることができた。

(2) 課題

ア CD範読を聞かせながら線を引かせたが、より深まりのある取組方法を研究していきたい。

イ クラス全体では「Aにする」という結論になったが、その過程での深まりが足りなかったため、より多様な意見を引き出す発問の工夫を心掛けたい。